

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	202,203
担 当 教 員	澤本 万紀子	実務経験とその関連資格	看護師・助産師、助産師、看護助産専門学校教員・教育主事、行政職、看護部長を経験口			
《科目目標》 1. 看護の基本となる概念を体系的に捉え、保健・医療・福祉の広い視野で、看護の機能・役割を理解する。 2. 人間理解を基盤とし、専門職業人としての倫理的態度を学ぶ。看護に関する過去と現在を学び、未来の見通しを考え、看護学の本質を理解する。 3. 看護学の豊かさ、深さをイメージし、関心を高め、各領域の看護学の学習へ発展させる。						
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】終講テスト100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 志自岐康子他編:ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論⑱、メディカ出版、2022						
《授業外における学習方法》 指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業内容について復習をしておくこと 授業終了後、教科書の問題(看護師国家試験問題等)を解答しておくこと						
《履修に当たっての留意点》 1. 看護学の基礎を理解する 2. 基本となる知識を用いて、あらゆる看護の対象や様々な看護の場で看護を実践することへ発展させる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の定義について理解できる 看護の主要概念について理解できる	看護学概論⑱ p20-67	看護の主要概念について言葉の意味を予習しておく	
		各コマにおける授業予定	1. 看護の変遷 2. 看護の定義 3. 看護の主要概念			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の定義について、社会の変化から理解できる 看護の役割、機能について理解できる 根拠に基づく実践、看護理論から、看護とは何か、看護師は何をする人かを考える	看護学概論⑱ p20-67 p126-150	看護の主要概念について言葉の意味を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	1. 看護の定義(保健師助産師看護師法の定義と役割機能の拡大) 2. 実践科学としての看護 3. 看護実践ための理論的根拠			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である人間のこころとからだについて理解できる 健康とはなにかを理解できる	看護学概論⑱ p70-110	健康とは?を自分の言葉で考えておく	
		各コマにおける授業予定	1. ホメオスタシス 2. 適応とストレス 3. 欲求 4. 危機 5. 健康の定義 6. 健康ではない状態、障がいとは 7. 国民の健康の全体像			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康と生活との関連について理解できる	看護学概論⑱ p112-124	人の成長と発達の特徴を予習しておく	
		各コマにおける授業予定	1. ライフサイクルと健康 2. 健康の社会的決定要因 3. 健康・生活とQOL			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療システムにおける、看護の役割と機能を理解できる 看護を提供するしくみについて理解できる	看護学概論⑱	保健医療システムの構	

5回	我形式	各コマにおける授業予定	1. 保健医療システムにおける関連職種と役割 2. 看護の役割・機能の拡大 3. 多職種連携協働 4. 看護サービス提供の場 5. 看護サービス管理	看護学概論⑭ p184-204	成を調へしわく 看護サービスの場を調べておく
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	職業としての看護の発展、看護職の資格と養成に關わる法律について理解できる	看護学概論⑱ p206-274 p276-325	看護に關係する法律について調べておく
		各コマにおける授業予定	1. 我が国の職業としての看護の変遷 2. 看護職の資格に關わる法律 3. 看護職の養成、看護職に求められる実践能力 4. 看護職の継続教育とキャリア開発		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護実践における倫理問題への取り組みについて理解できる 看護実践場面での倫理的ジレンマと倫理課題に取り組むしくみを理解できる	看護学概論⑱ p152-182	倫理・道徳・法の關係について考えておく
		各コマにおける授業予定	1. 倫理、道徳、法 2. 現代の医療・看護と倫理 3. 職業倫理 4. 看護の本質としての看護倫理 5. 倫理原則とケアの倫理 6. 倫理的態度		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	到達度評価	参考資料	
		各コマにおける授業予定	終講試験		